

伝えていきたいものがあります
残していきたいものがあります

まちの誇り
まちの宝

温泉

東北一のラジウム含有量を誇る石川の温泉は、古くから町内外の人々に親しまれてきたまちの宝です。八幡太郎義家や和泉式部の時代から、こんこんと湧き上がる温泉は人々の心と体を癒し、知らない者同士が笑顔でふれあえる交流の場を提供しています。

東北一のラジウム含有量を誇る 母畑・石川温泉郷

阿武隈高地の南部に位置する本町は、大変複雑な地質構造を持ち、世界的にも珍しい放射性鉱物を多く産出してきました。この特異な地質構造がもたらしてくれた恵みのひとつが、東北でも有数のラジウム含有量を誇る「母畑・石川温泉郷」です。ラジウム温泉は通常「弱放射能泉」と表示され、鎮静効果や循環器障害の改善、血圧低下などに効能があると言われていたことから、昔から湯治場として親しまれてきました。母畑の三日湯（この地方の温泉に二、三日入ると体調が良くなることから）という言葉は、そのことを物語っています。



【母畑温泉】

ラジウム含有量東北一を誇るラジウム温泉。母畑の名は八幡太郎義家が奥州征伐の際、負傷した愛馬を谷川の清水で洗ったところその傷が完治したため、母衣（ほろ）と旗（はた）を奉納したと「母衣旗」が母畑（ほばた）に転化したと伝えられています。



八幡太郎義家

【猫啼温泉】

平安時代の歌人・和泉式部ゆかりの温泉。この地の長者の子として生まれた和泉式部は、13歳で京都に上京。その際、残してきた愛猫が彼女を偲び、3日3晩泣き続けたことから「猫啼（ねこなき）」という地名が生まれたと言われています。



和泉式部

【片倉温泉】

薬王山の麓、今出川沿いにある温泉。かつてこの付近一帯を片倉製紙が保養所として使用していたことから「片倉温泉」と呼ばれるようになりました。

【塩の沢温泉】

標高500mの山々に囲まれた自然豊かな温泉。古くから里山の湯治場として人々に親しまれてきました。特に新緑や紅葉の時期は、散策を兼ねた湯治客でにぎわいます。



母畑温泉街

まちの特産品

自然の恵みを活かした特産品
職人が手塩にかけた味と技



●こんにゃく
カルシウムや食物繊維を多く含んだヘルシーなお土産として人気。



●石川牛
肉質の柔らかさと風味の豊かさならどこにも負けない石川牛。



●りんご
9月下旬の「つがる」から11月下旬の「ふじ」まで、さまざまな味が楽しめる石川のりんご。



●工芸品
木の温もりを活かした「式部雛」、愛らしい表情の「和泉式部こけし」。



●銘菓
伝統の味を守る老舗から新しい素材や味に挑戦するお店まで、菓子店が多いのもまちの自慢。



●名酒
地元産の酒造米「美山錦」を使った純米酒「きららの初恋」と地元産のりんごを使ったワイン「キララの初恋」。